

<div>事業結果要約報告書</div> <div>— 科学技術振興関係 —</div>		<div>受付番号</div> <div>2024 KJ-</div>
<div>公益財団法人 マツダ財団 御中</div> <div>2025年 4月18日</div> <div>所属機関名 広島市立広島工業高等学校</div> <div>申請代表者 小林 安久</div> <div>役 職 教諭</div> <div>フリガナ コバヤシ ヤスヒサ</div> <div>氏 名 小林 安久 印</div> <div>(TEL : 082-282-2216)</div> <div>マツダ財団から受けた 助成金 105 千円 による事業結果について、 次のとおり報告します。</div>		
<div>助成事業名</div>		<div>第17回コンクリート甲子園への参加</div> <div>(事業期間：2024年6月1日～2025年5月31日)</div>
	<div>計 画</div>	<div>実 施 結 果</div>
<div>事業内容</div>	<div>日時 令和6年12月7日(土)</div> <div>場所 香川県生コンクリート工業組合 試験センター</div> <div>対象 予選通過10校</div> <div>定員</div> <div>内容</div> <div>第17回コンクリート甲子園の予選を通過し、本選で優勝を目指す。</div> <div>6月～9月は予選通過のために供試体の作成</div> <div>10月～12月は本選優勝に向けた準備</div>	<div>日時 令和6年12月7日(土)</div> <div>場所 香川県生コンクリート工業組合 試験センター</div> <div>対象 本選を10校で競い合う</div> <div>参加者(人)</div> <div>内訳 (小中高の先生； 1 人)(生徒； 4 人)</div> <div>内容 本選へ出場し、</div> <div>強度部門3位、プレゼンテーション部門2位、</div> <div>デザイン部門2位、総合で優勝</div> <div>講演； 件、発表； 件、シンポジウム； 件</div>

事業結果報告（以下の項目について具体的にご記入ください。形式・レイアウト自由、ボリュームは適宜調節ください。）

事業の目的・ねらい

生徒がコンクリートの製作を通して、コンクリートの特性や基礎知識を身に付け、使用する目的に沿った最適な材料の選択、練り混ぜ方法、養生環境など、強度への影響を考慮してコンクリートを製作する。その過程から得られた結果をまとめ、発表を行うことで、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、問題を解決する能力など、生きる力を育成するとともに、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む力を養うことを目的とする。

事業の概要

「第17回コンクリート甲子園」への取組（開催要項6月上旬発表）

予選：令和6年9月28日（土）の強度部門のみで審査（全国44校45チーム参加） 10校が本選出場

本選：日時：令和6年12月7日（土）（本選） 10時から16時

競技内容：①強度部門（軽量かつ目標強度20N/㎠以上で単位容積質量×圧縮強度の小さい順）

②デザイン部門（テーマ「新しいコンクリート甲子園マスコットキャラクター」）

③プレゼンテーション部門 各部門の表彰（3位まで）と総合部門表彰（3位まで）を行う。

成果・効果

取り組み内容および結果

○4月～5月 コンクリートの特性把握と材料実験の基礎的知識の習得。

○6月～9月 開催要項に沿った供試体製作のため、試験練りによる材料の選定及び決定。

骨材による強度の違いを調査し、試験結果を整理・分析。

予選供試体の製作のための配合設計・詰め方・養生条件などの総合分析。

予選用供試体の候補を製作し、破壊試験により送付用供試体を決定。

○10月～12月 本選供試体の候補を製作し、最終決定後にデザインを行い供試体の送付。

並行してプレゼンテーションの内容及びパワーポイントの作成、発表練習。

<大会結果> 強度部門 3位 プレゼンテーション部門 2位 デザイン部門 2位

総合部門 優勝（2連覇達成）

生徒の優勝コメント

昨年度、総合優勝を果たした先輩方に憧れを持ち、連覇を狙い4人で努力してきました。初めはコンクリートの知識がない状況から始まり困難に直面することもありました。コンクリートを作成してきて大変だったことは、夏の暑い中コンクリートを練ったことです。全員、運動部の部活後コンクリートを練ることは、体力的に大変でした。しかし、協力し自分たちで作ったものの結果が出る瞬間の嬉しさ、自分の知識が増えて成長している実感があったから頑張れました。

優勝できたのは、指導して下さった先生や応援して下さった方々がいてくれたから。そして、ともに頑張ってきたチームの絆があったからです。コンクリート甲子園に出場し、コンクリートの知識が増えただけでなく協力することの大切さ、ものをつくる楽しさを経験できました。今でも結果発表の時の感動は忘れられません。本気で取り組み、大会に参加できて良かったと思います。今後、自分の可能性を信じ何事も本気で取り組みたいです

写真、図（4点程度。写真や図にはタイトルをご記入ください。）

作業風景



出場作品



受賞



※ 3ページ以降も自由に追加いただいて結構です。

※この「事業結果要約報告書」(Word)、デジカメ写真の画像(.jpegなどで、解像度を下げていないもの)を、CD-R等に入れてご提供いただければ幸いです。

※みなさまの活動を「事業結果要約報告書」や「マツダ財団ホームページ」で、写真も含めてご紹介したいと思っております。写真撮影の際には、参加者の皆様にもその旨了解を得ておいてください。